

党躍進、政権交代で新しい政治を

「比例は共産党」
広げに広げ、
近畿4議席必ず

菅首相が国民の世論と運動に追い詰められて3日、政権を投げ出した中、国会議員・予定候補は総選挙勝利へ「比例は共産党」「近畿4議席必ず」と訴えました。

宮本さんが事務所開き こむらさんも訴え



宮本だけし前衆院議員（比例・大阪5区候補）の事務所開きが5日、大阪市西淀川区で行われ、事務所前に約80人が参加、ネットで約150人が視聴しました。

宮本氏は、菅首相の政権投げ出しに触れ、「モリカケ、桜、官房機密費は何一つ国民に納得のいく説明がない」と批判。徹底究明の決意を語り、「清潔な党だから究明の先頭に立てる」と述べました。大阪12区補選に自らの議席をなげうって立候補、野党共闘の先頭に立ってきたことを紹介し、「今こそ野党は政治を変える明確な旗印を示し、新しい政権をつくらなければならない」と力説、「比例の大波を起こし、近畿4議席、5区から風穴を開けよう」と訴えました。

こむら潤比例候補（兵庫8区重複）があいさつ。「今こそ命・暮らしを守る政治を」と訴えました。山下芳生副委員長・参院議員からのメッセージが紹介され、各界から激励あいさつが行われました。

こむら候補が街角懇談会

大阪・平野区の2カ所で

こむら潤候補は5日、大阪市平野区内2カ所で街角懇談会に取り組みました。

こむら候補は首相の辞意表明を受け、「誰が次の首相になっても同じ自民党ではダメ」と切り出し、保育や障害者の現場の声を踏まえ、自助を押し付ける自民党の政

治では変えなければいけないことがコロナで明らかになったとし、総選挙で自公政治から、コロナから命や暮らし、営業を守る政治をと訴えました。

会場から寄せられた「PCR検査をもっと身近で受けられるようにしてほしい」「暮らしを守るためにどうすれば」「財源は大丈夫？」などの質問に答え、「国民が声をあげ、国会で追及する共産党の議席が増えればみなさんの声が届く」「野党共闘を前に進めるためにも、みなさんの声で背中を押して」「比例近畿は現在2議席、これをみなさんの力で4議席へご支援を」と訴えました。

小川陽太前大阪市議が司会し、出戸駅前では約50人が集まりました。

「JCP サポーターズ大阪発足オンライン交流会」

清水衆院議員があいさつ

JCP サポーター大阪のZoomでつないでのオンライン交流会。共産党の勝利のために忌憚のない意見を出し合ってもらおうという大阪府委員会の取り組みで、約25人が参加しました。

清水議員は「有権者のみなさんをお客さん扱いすることなく『共に政治を変えていく主権者なんだ』という呼びかけを、アイデアを尽くして広げていくことが投票率の増加につながり、政権交代の大きな力になります。‘楽しくなければ集まらない、真面目でなければ続かない、元気がなければ勝利できない’の精神で、楽しみながら頑張りましょう」と訴えました。

和歌山紀北地区

オンラインで決起集会

和歌山紀北地区は5日、オンラインで党と後援会決起集会を開催し、会場とオンラインで48人が参加しました。



大門実紀史参院議員が報告。菅退陣をどう見るか、安倍・菅政権の9年間について語り、「本気の共闘で政権交代を」、「日本共産党が伸びてこそ政治は変わる」と力説しました。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 45(2021.9.6)